

第3期データヘルス計画
第4期特定健康診査等実施計画

令和6年度～令和11年度

令和6年3月
南木曾町

目 次

第1章 第3期データヘルス計画(保健事業実施計画)の基本的事項

- 1 計画策定の背景及び目的…………… 3
- 2 データヘルス計画の位置づけ…………… 4
- 3 関係者が果たすべき役割…………… 4
- 4 計画期間…………… 4
- 5 計画の公表及び周知…………… 4
- 6 個人情報の取扱い…………… 4

第2章 共通評価指標及び共通情報等の経年変化

- 1 保険者の特性…………… 5
 - 1) 人口…………… 5
 - 2) 国保被保険者の構成…………… 6
 - 3) 高齢化率…………… 8
- 2 健康指標の状況…………… 9
 - 1) 平均寿命及び健康寿命…………… 9
 - 2) 死因…………… 11
 - 3) 介護…………… 15
 - 4) 医療費…………… 17
 - 6) 特定健康診査及び特定保健指導の実施状況…………… 21
 - 6) 有病情報…………… 33
 - 7) 健診有所見者…………… 42
 - 8) 質問票の状況…………… 79

第3章 健康指標の分析による健康課題の設定

第4章 健康課題及び共通指標における個別保健事業

- 1 特定健診受診率…………… 90
- 2 II度高血圧以上の方の割合…………… 91
- 3 HbA1c8.0以上の方の割合…………… 91
- 4 HDL コレステロール 40未満の方の割合…………… 92

5	メタボリックシンドローム予備群及び該当者割合	92
6	特定保健指導終了率	93
7	特定保健指導対象者の減少率	93

第5章 第4期特定健康診査等実施計画

1	第4期特定健康診査等実施計画について	94
2	実施状況	94
3	達成目標	94
4	実施方法	95
4	健診及び保健指導の記録管理及び保存	95

第2期データヘルス評価	別紙
-------------	----

第1章 第3期データヘルス計画(保健事業実施計画)の基本的事項

1 計画策定の背景及び目的

近年、特定健康診査の実施や診療報酬明細書等(以下「レセプト等」という。)の電子化の進展、国保データベースシステム(以下「KDB」という。)等の整備により、保険者が健康や医療に関する情報を活用して被保険者の健康課題の分析、保健事業の評価等を行うための基盤の整備が進んでいる。

こうした中、「日本再興戦略」(平成25年6月14日閣議決定)においても、「すべての健康保険組合に対し、レセプト等のデータ分析、それに基づく加入者の健康保持増進のための事業計画として「保健事業実施計画」(以下「データヘルス計画」という。)の作成・公表、事業実施、評価等の取組を求めるとともに、市町村国保が同様の取組を行うことを推進する。」とされ、保険者はレセプト等を活用した保健事業を推進することとされた。

これまでも、保険者においては、レセプトや統計資料等を活用することにより、「特定健康診査等実施計画」の策定や見直し、その他の保健事業を実施してきたところであるが、今後は、さらなる被保険者の健康保持増進に努めるため、保有しているデータを活用しながら、被保険者をリスク別に分けてターゲットを絞った保健事業の展開や、ポピュレーションアプローチ(集団全体への働きかけ)から重症化予防までをカバーした保健事業を進めていくことなどが求められている。

厚生労働省においては、こうした背景を踏まえ、国民健康保険法(昭和33年法律第192号)第82条第4項の規定に基づき厚生労働大臣が定める国民健康保険法に基づく保健事業の実施に関する指針(平成16年厚生労働省告示第307号。以下「保健事業実施指針」という。)の一部を改正し、保険者は健康・医療情報を活用してPDCAサイクル(Plan:計画、Do:実施、Check:評価、Action:改善)に沿った効果的かつ効率的な保健事業の実施を図るためのデータヘルス計画を策定した上で、保健事業の実施及び評価を行うものとしている。

第3期計画においては、都道府県レベルで計画を標準化していくことが求められており、長野県においては、「保険者が健康課題を把握するために必要な共通情報(以下、共通情報という。)」及び「計画の達成状況を評価するための共通指標(以下、共通指標という。)」を設定することにより、同一指標による経年的モニタリングや、他保険者との比較や自保険者の客観的な状況の把握が可能となる。南木曾町においては、県の方針を遵守し、被保険者の健康の保持増進に資することを目的として計画を定め、生活習慣病対策をはじめとする被保険者の健康増進、生活習慣病等の発症や重症化予防等の保健事業の実施及び評価を行うものとする。なお、第3期計画以降も第2章における共通情報及び共通指標の設定は県の方針通りとする。

2 データヘルス計画の位置づけ

データヘルス計画は、被保険者の健康の保持増進に資することを目的として、健康・医療情報を活用してPDCAサイクルに沿った効果的かつ効率的な保健事業の実施を図るため、特定健診の結果、レセプト等の健康・医療情報を活用して、運用する。

3 関係者が果たすべき役割

本計画の策定に当たり国民健康保険部局および健康づくり部局が主体となり策定等することが基本となる。しかし住民の健康の保持増進には幅広い部局が関わっていることから、高齢者医療部局との連携により計画を策定する。

また、策定から評価までの一連のプロセスにおいて国民健康保険事業の運営に関する協議会との連携を重視しデータの見える化等により被保険者の健康課題を共有することにより計画の実効性を高める。

4 計画期間

令和 6 年度から令和 11 年度までの 6 年間を計画期間とし、必要に応じて中間評価を行うものとする。

5 計画の公表及び周知

第 3 期計画については、被保険者及び保健医療関係者等の理解を促進するため、ホームページ等を通じて公表及び周知を図り、保健事業を実施する。

6 個人情報の取扱い

「個人情報の保護に関する法律(平成 15 年法律第 57 号)」及び「南木曾町個人情報公開及び個人情報保護に関する条例(平成 12 年条例第 878 号)」を踏まえた対応を行う。

第2章 共通指標及び共通情報等の経年変化

第3期計画策定においては、標準化の推進を図る観点から、県で設定している共通指標及び共通情報等の健康指標の状況から取り組むべき健康課題を明らかにしていく必要がある。

なお、南木曾町においては共通評価指標及び共通情報に加え、必要な健康指標からその状況を把握していく。

【指標項目の見方】共通評価指標は★・共通情報は☆と記載

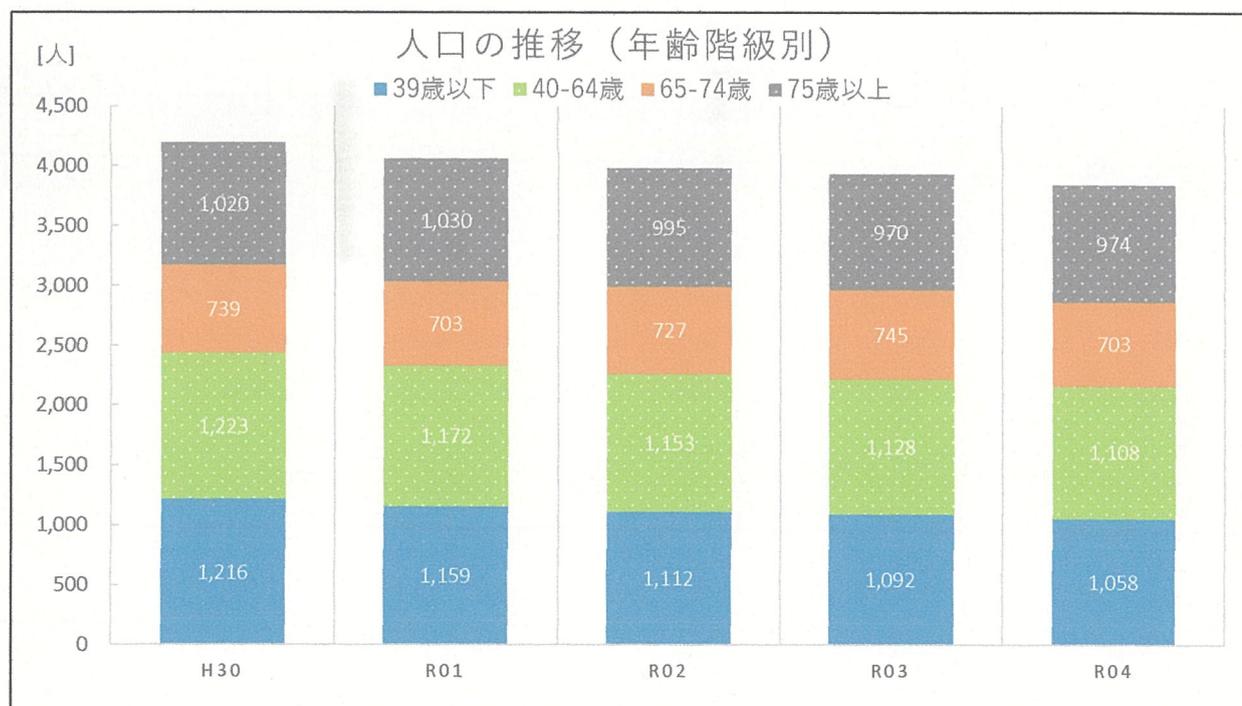
1 保険者の特性

1)人口☆

人口の推移(年齢階級別)

対象:全人口

年度	総数[人]	39歳以下		40-64歳		65-74歳		75歳以上	
		人数[人]	率[%]	人数[人]	率[%]	人数[人]	率[%]	人数[人]	率[%]
H30	4,229	1,216	28.8	1,223	28.9	739	17.5	1,020	24.1
R01	4,092	1,159	28.3	1,172	28.6	703	17.2	1,030	25.2
R02	4,013	1,112	27.7	1,153	28.7	727	18.1	995	24.8
R03	3,970	1,092	27.5	1,128	28.4	745	18.8	970	24.4
R04	3,876	1,058	27.3	1,108	28.6	703	18.1	974	25.1

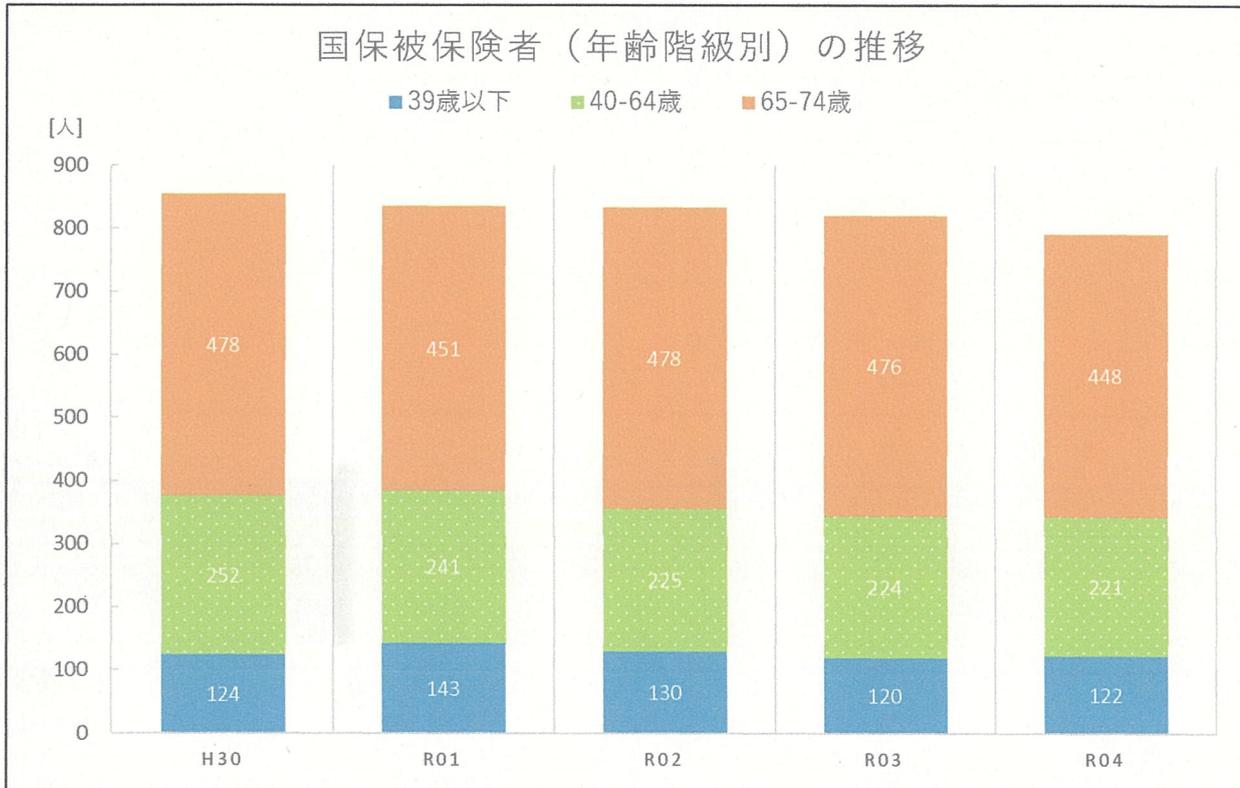


2) 国保被保険者の構成☆

国保被保険者(年齢階級別)の推移

対象: 国保被保険者

年度	総数 [人]	39歳以下						40-64歳						65-74歳					
		計		男		女		計		男		女		計		男		女	
		人数[人]	率[%]	人数[人]	率[%]	人数[人]	率[%]	人数[人]	率[%]	人数[人]	率[%]	人数[人]	率[%]	人数[人]	率[%]	人数[人]	率[%]	人数[人]	率[%]
H30	854	124	14.5	68	15.9	56	13.2	252	29.5	125	29.1	127	29.9	478	56.0	236	55.0	242	56.9
R01	835	143	17.1	77	18.5	66	15.8	241	28.9	124	29.8	117	27.9	451	54.0	215	51.7	236	56.3
R02	833	130	15.6	73	17.4	57	13.8	225	27.0	113	27.0	112	27.1	478	57.4	233	55.6	245	59.2
R03	820	120	14.6	72	17.3	48	11.9	224	27.3	111	26.7	113	28.0	476	58.0	233	56.0	243	60.1
R04	791	122	15.4	71	17.6	51	13.2	221	27.9	116	28.7	105	27.1	448	56.6	217	53.7	231	59.7



南木曾町の人口は、平成30年度より年々減少している。全人口に対する割合は、39歳以下では1.5%、40～64歳では0.3%減少し、65～74歳は0.6%、75歳以上は1.0%増加している。国保被保険者数は減少傾向であり、平成30年度からの5年間で7.4%減少している。特に、40～64歳の人口は約12%減少している。

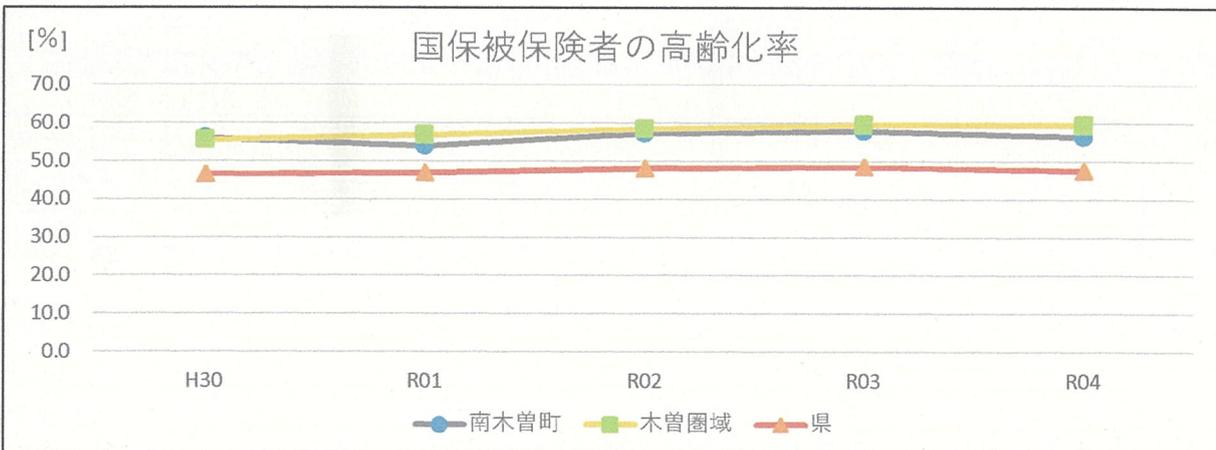
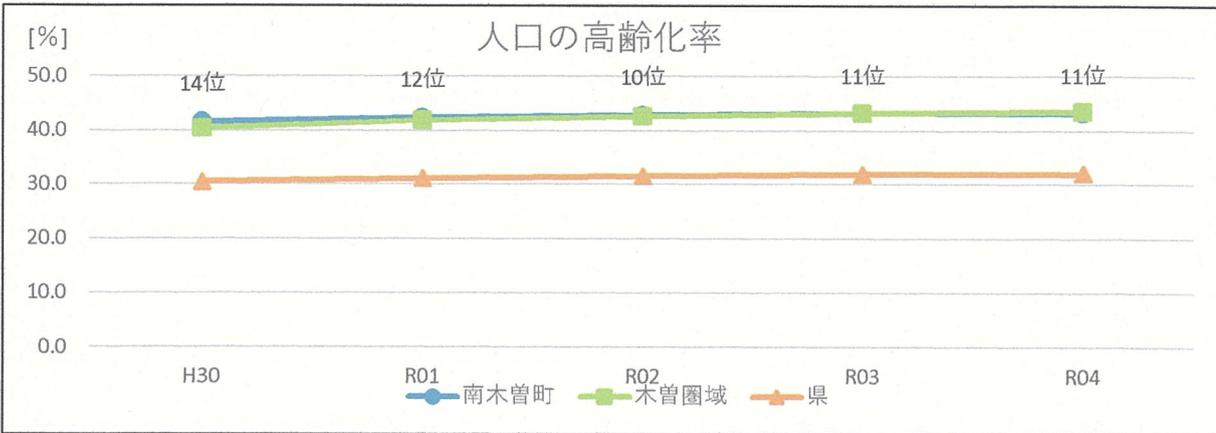
3) 高齢化率☆

高齢化率(65歳以上の割合)

対象: 全人口・国保被保険者

[%]

年度	高齢化率(政府統計情報より)			国保被保険者の高齢化率(KDBより)		
	南木曾町	木曾圏域	県	南木曾町	木曾圏域	県
H30	41.6	40.4	30.5	56.0	55.6	46.6
R01	42.4	41.9	31.2	54.0	56.9	47.1
R02	42.9	42.6	31.6	57.4	58.4	48.1
R03	43.2	43.2	31.9	58.0	59.6	48.6
R04	43.3	43.5	32.1	56.6	59.5	47.6



高齢化率は平成30年度の41.6%から令和4年度の43.3%と上昇傾向となっており、推移の傾向は木曾圏域や県と同様で、県内順位は10～14位を推移している。また、国保被保険者の高齢化率は横ばい傾向にある。

2 健康指標の状況

1) 平均寿命及び健康寿命☆

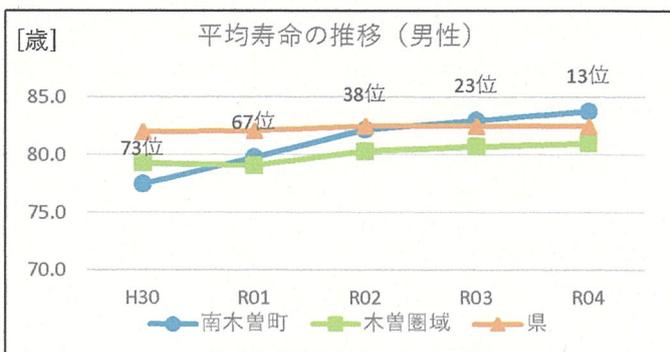
平均寿命は0歳が何年生きる事ができるかの期間であり、健康寿命は日常生活が制限されることなく生活できる期間である。

平均寿命と健康寿命の差は、日常生活に制限のある「不健康な期間」を示すため、健康寿命の延伸を図り、差を縮小していくことが医療費適正化やQOLの向上等に繋がる。

(1) 男性

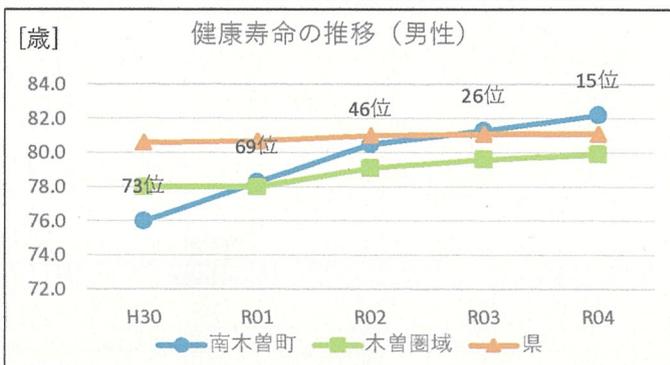
平均寿命の推移

年度	H30	R01	R02	R03	R04
南木曾町	77.5	79.8	82.2	83.0	83.8
木曾圏域	79.3	79.1	80.3	80.7	81.0
県	82.0	82.1	82.5	82.5	82.5



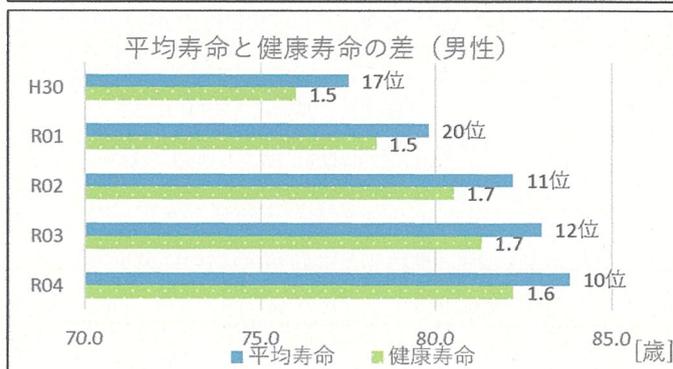
健康寿命の推移

年度	H30	R01	R02	R03	R04
南木曾町	76.0	78.3	80.5	81.3	82.2
木曾圏域	78.0	78.0	79.1	79.6	79.9
県	80.6	80.7	81.0	81.1	81.1



平均寿命と健康寿命の差

年度	H30	R01	R02	R03	R04
南木曾町	1.5	1.5	1.7	1.7	1.6
木曾圏域	1.3	1.1	1.2	1.1	1.1
県	1.4	1.4	1.5	1.4	1.4



平均寿命は平成30年度の77.5歳から令和4年度には83.8歳となり6.3歳延びており、県内順位も平成30年度の73位から令和4年度には13位まで上昇している。

健康寿命も同様に、平成30年度の76.0歳から令和4年度には82.2歳となり6.2歳延びており、平均寿命と健康寿命の差は横ばい傾向となっている。

(2) 女性

平均寿命の推移

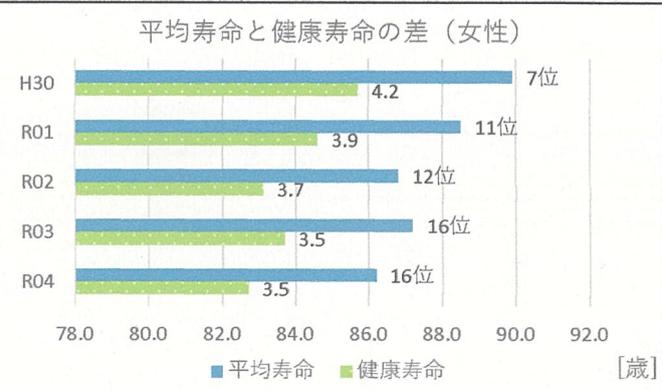
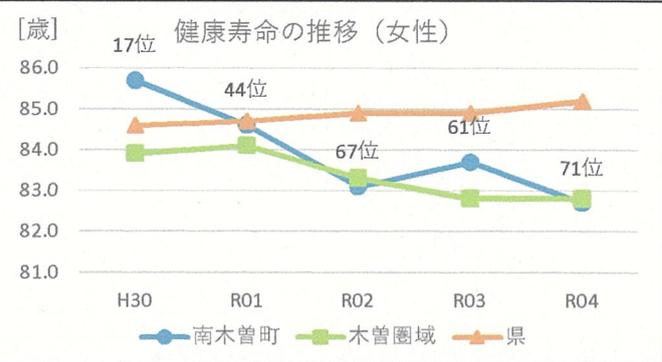
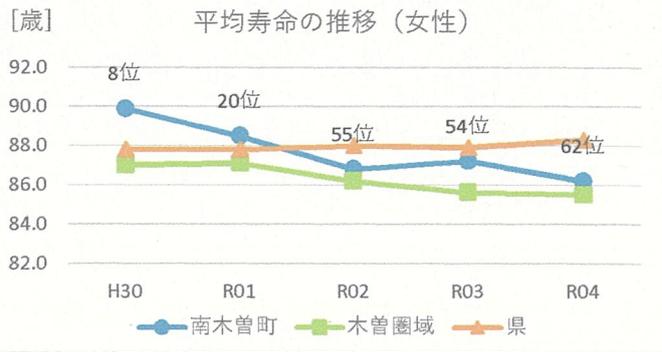
年度	H30	R01	R02	R03	R04
南木曽町	89.9	88.5	86.8	87.2	86.2
木曽圏域	87.0	87.1	86.2	85.6	85.5
県	87.8	87.8	88.0	87.9	88.3

健康寿命の推移

年度	H30	R01	R02	R03	R04
南木曽町	85.7	84.6	83.1	83.7	82.7
木曽圏域	83.9	84.1	83.3	82.8	82.8
県	84.6	84.7	84.9	84.9	85.2

平均寿命と健康寿命の差

年度	H30	R01	R02	R03	R04
南木曽町	4.2	3.9	3.7	3.5	3.5
木曽圏域	3.1	3.0	2.9	2.8	2.7
県	3.2	3.1	3.1	3.0	3.1



平均寿命は平成30年度の89.9歳から令和4年度には86.2歳となり3.7歳短くなっており、県内順位は平成30年度の8位から令和4年度には62位となっている。

健康寿命も同様に、平成30年度の85.7歳から令和4年度には82.7歳となり3.0歳短くなっている。また、平均寿命と健康寿命の差は縮小傾向となっている。

2) 死因

計画は医療費適正化に資することを目的にしているため、死因別死亡率は、心疾患、脳血管疾患、腎不全及び生活習慣との関連のあるがん(大腸・胃・肺)について把握していく。

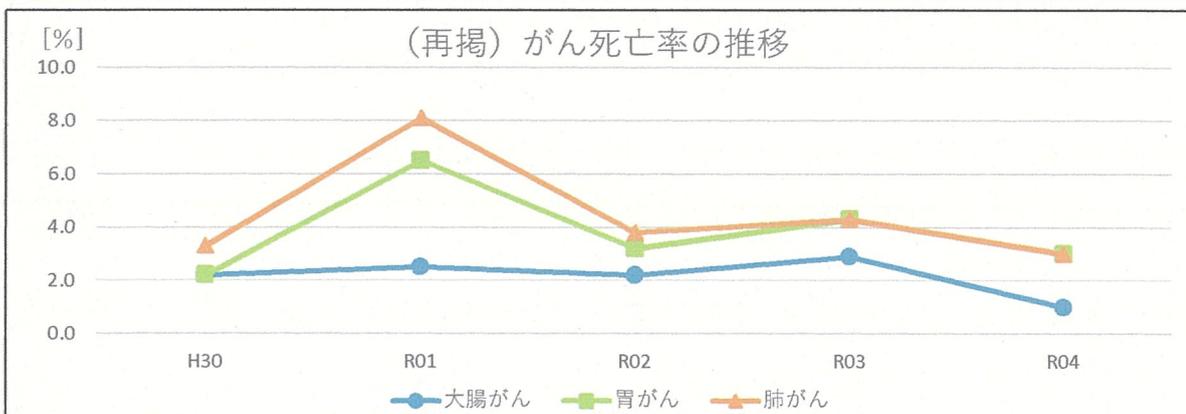
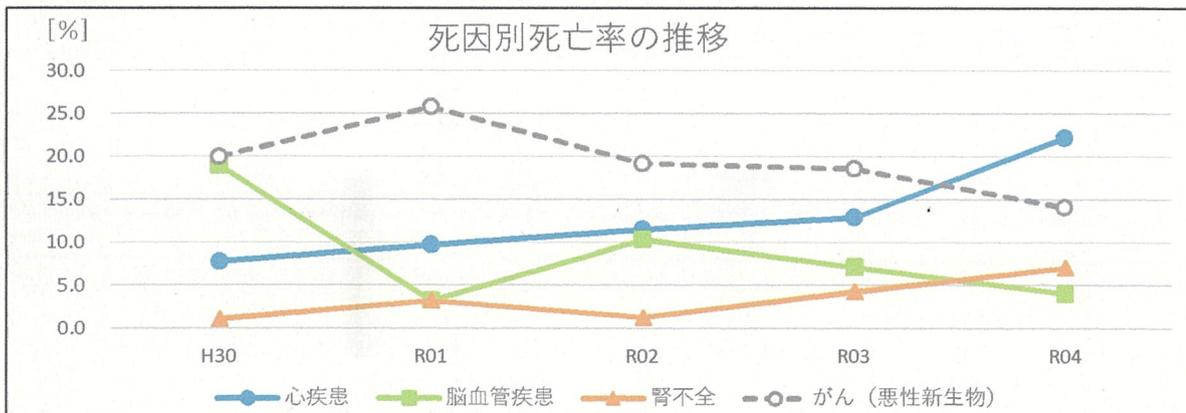
(1) 死因別死亡率☆

対象: 全人口

死因別死亡率の推移

南木曾町

		南木曾町									
		死亡率[%]					県内順位				
		H30	R01	R02	R03	R04	H30	R01	R02	R03	R04
死因別	心疾患	7.8	9.7	11.5	12.9	22.2	74位	67位	63位	53位	6位
	脳血管疾患	18.9	3.2	10.3	7.1	4.0	3位	72位	25位	59位	73位
	腎不全	1.1	3.2	1.3	4.3	7.1	44位	9位	35位	4位	1位
	がん(悪性新生物)	20.0	25.8	19.2	18.6	14.1	60位	19位	67位	60位	72位
	(再掲) 大腸がん	2.2	2.5	2.2	2.9	1.0					
	胃がん	2.2	6.5	3.2	4.3	3.0					
	肺がん	3.3	8.1	3.8	4.3	3.0					



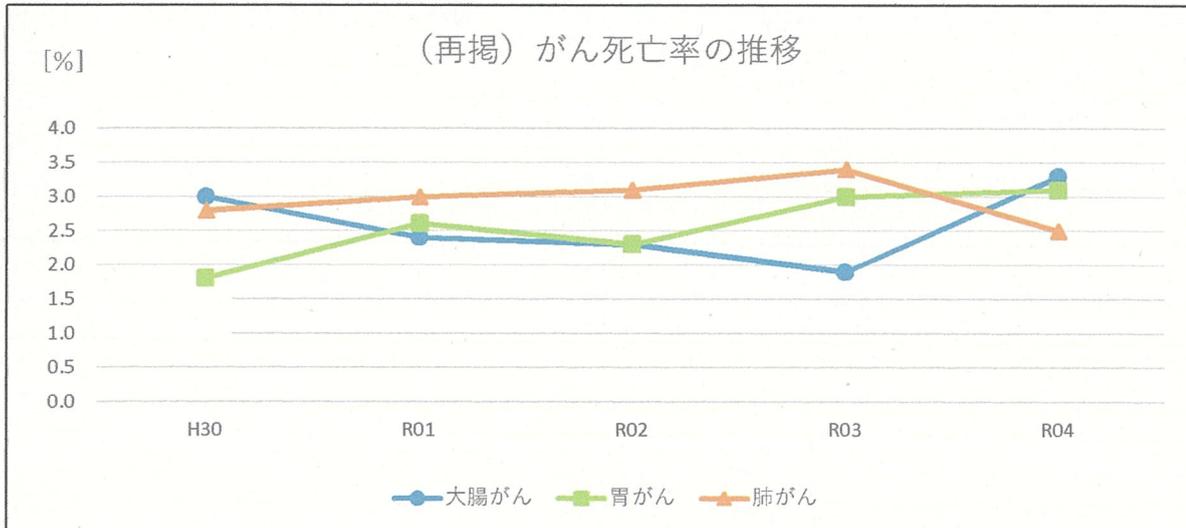
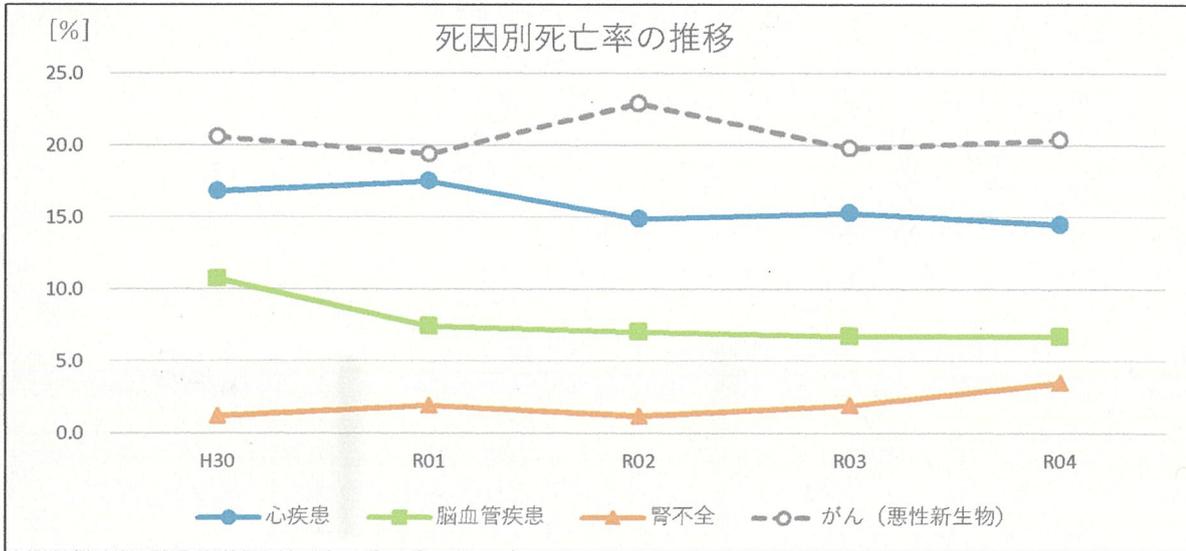
心疾患の死亡率は平成30年の7.8%から令和4年の22.2%と年々増加傾向にあり、県内順位も平成30年の74位から令和4年の6位に上昇している。令和3年までは木曾圏域、県と同様にがんの死亡率が最も高くなっていたが、令和4年は心疾患が22.2%と最も高くなっている。腎不全は平成30年は1.1%で県内順位は44位だったが、令和4年は7.1%で県内順位は1位となっている。

対象:全人口

木曽圏域

死因別死亡率の推移

		木曽圏域									
		死亡率[%]					二次医療圏内順位				
		H30	R01	R02	R03	R04	H30	R01	R02	R03	R04
死因別	心疾患	16.8	17.5	14.9	15.3	14.5	5位	6位	5位	5位	1位
	脳血管疾患	10.7	7.4	7.0	6.7	6.7	1位	5位	1位	3位	5位
	腎不全	1.2	1.9	1.2	1.9	3.5	3位	2位	3位	2位	1位
	がん(悪性新生物)	20.6	19.4	22.9	19.8	20.4	3位	1位	6位	3位	5位
	(再掲)	大腸がん	3.0	2.4	2.3	1.9	3.3				
	胃がん	1.8	2.6	2.3	3.0	3.1					
	肺がん	2.8	3.0	3.1	3.4	2.5					

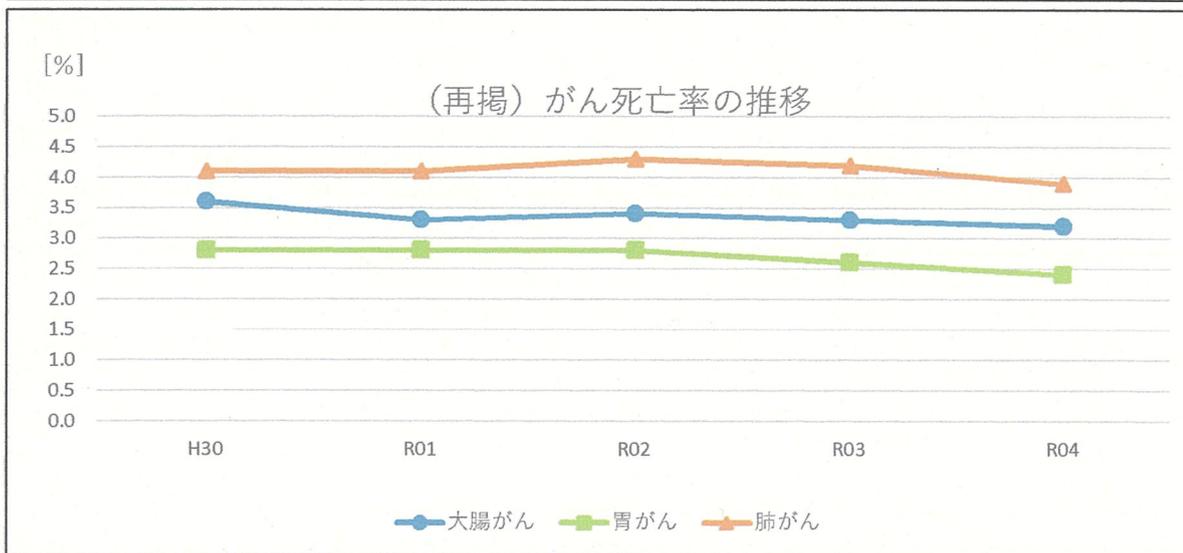
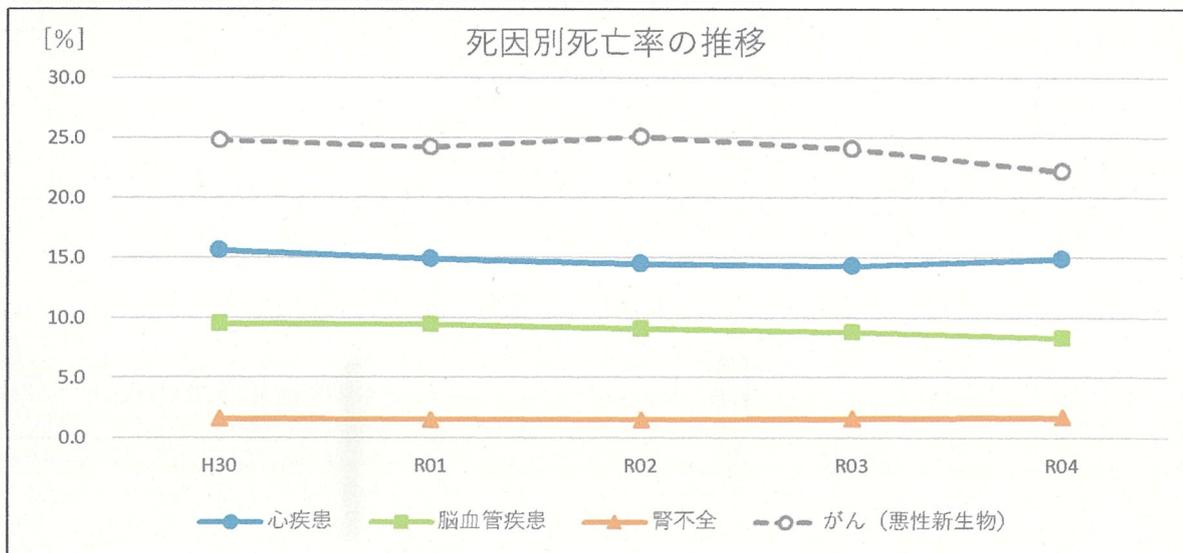


対象:全人口

県

死因別死亡率の推移

		県				
		死亡率[%]				
		H30	R01	R02	R03	R04
死因別	心疾患	15.6	14.9	14.5	14.3	14.9
	脳血管疾患	9.5	9.4	9.1	8.8	8.3
	腎不全	1.6	1.5	1.5	1.6	1.7
	がん(悪性新生物)	24.8	24.2	25.1	24.1	22.2
	(再掲)					
	大腸がん	3.6	3.3	3.4	3.3	3.2
胃がん	2.8	2.8	2.8	2.6	2.4	
肺がん	4.1	4.1	4.3	4.2	3.9	



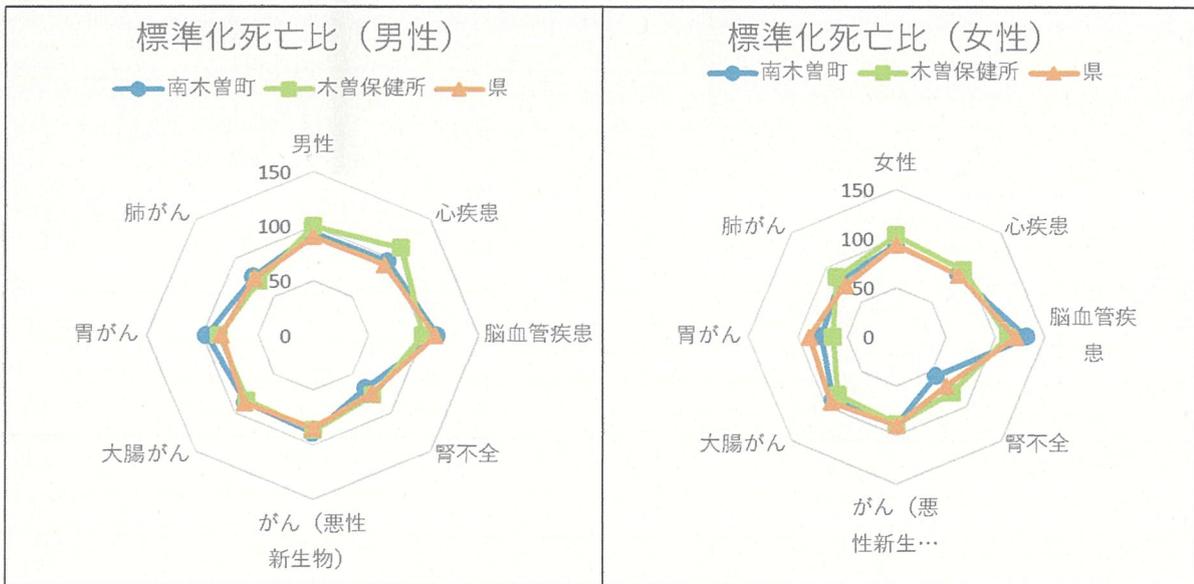
(2) 標準化死亡比☆

対象: 全人口

死亡の状況は年齢構成に影響を受けるため、地域間の比較及び経年的な推移を確認するには年齢調整した指標を用いて見ていく。

標準化死亡比とは、全国を100とした場合、その地域で年齢調整した上での死亡の起こりやすさを表したものである。例えば標準化死亡比が120の場合、全国に比較し1.2倍死亡が起こりやすくなっていることを表す。

H25-H29		南木曽町	木曽保健所	県		
性別	男性	94.198	100.01	90.47		
	女性	93.963	103.158	93.804		
死因別	心疾患	男性	96.1	113.1	91.8	
		女性	89.0	95.6	88.8	
	脳血管疾患	男性	112.4	99.7	110.6	
		女性	132.0	112.8	120.8	
	腎不全	男性	67.8	76.8	74.9	
		女性	56.8	80.0	70.3	
	がん(悪性新生物)	男性	89.0	87.1	84.9	
		女性	89.2	88.6	89.8	
	(再掲)	大腸がん	男性	86.4	84.2	87.2
			女性	90.5	83.9	94.0
		胃がん	男性	96.6	85.2	83.3
			女性	76.3	64.5	88.5
	肺がん	男性	76.0	70.0	74.8	
		女性	81.2	85.2	73.8	



標準化死亡比では、脳血管疾患が男性と女性のいずれも100を超えている。特に女性は132.0であり、全国に比べ1.32倍死亡が起こりやすくなっている。

心疾患、腎不全、がんについては男女ともに100を下回っており、全国より死亡が起こりづらいが、がんは男女とも木曽保健所の値を上回っている。

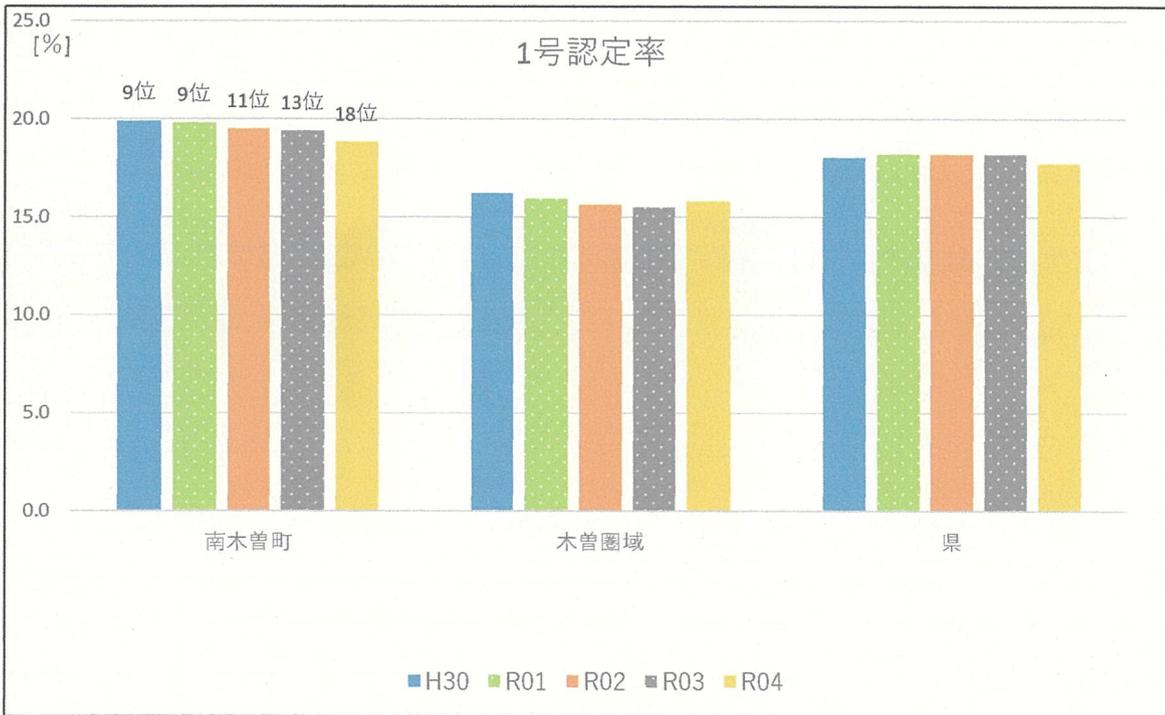
3)介護

要介護認定率や介護給付費等の介護保険制度の指標は、生活習慣病等を要因とする重症化の状況や医療費とともに社会保障費への影響を見ることができ、要介護になった要因を把握していくことにより、重症化予防に必要となる課題を推測することができる。

(1)要介護(要支援)認定率☆

	1号(65歳以上)認定率			2号(40~64歳)認定率		
	南木曽町	木曽圏域	県	南木曽町	木曽圏域	県
H30	19.9	16.2	18.0	0.1	0.2	0.3
R01	19.8	15.9	18.2	0.1	0.2	0.3
R02	19.5	15.6	18.2	0.1	0.1	0.3
R03	19.4	15.5	18.2	0.1	0.2	0.3
R04	18.8	15.8	17.7	0.2	0.2	0.3

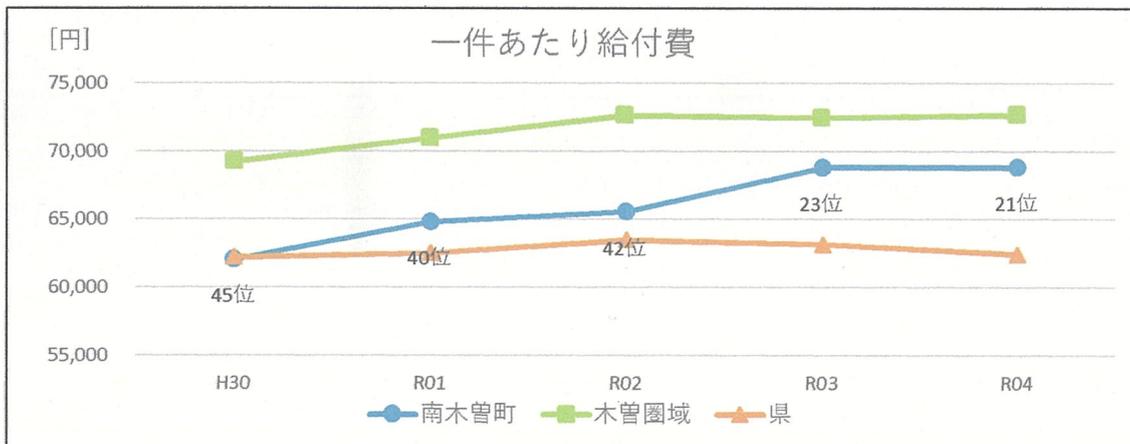
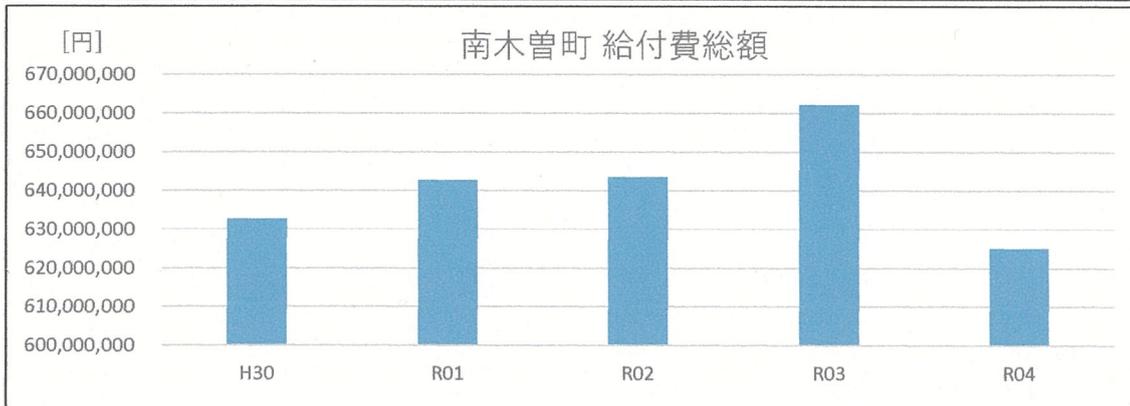
※グラフは1号のみ



1号認定率は年々減少傾向にあり、平成30年度の19.9%から令和4年度の18.8%まで1.1%減少し、県内順位も平成30年度の9位から令和4年度の18位まで下がっている。過去5年間木曽圏域、県より高い水準で推移している。

(2) 介護給付費☆

		H30	R01	R02	R03	R04
南木曽町	給付費総額[円]	632,697,586	642,814,369	643,455,746	662,203,300	625,137,004
	一件当たり給付費[円]	62,047	64,819	65,545	68,807	68,863
木曽圏域	給付費総額[円]	3,408,991,762	3,389,208,098	3,371,195,552	3,379,509,094	3,390,311,858
	一件当たり給付費[円]	69,238	70,962	72,628	72,459	72,671
県	給付費総額[円]	179,048,179,364	182,286,417,449	185,738,106,292	187,274,951,627	186,555,887,417
	一件当たり給付費[円]	62,215	62,530	63,476	63,158	62,434



介護給付費の総額は平成30年度から令和3年度にかけて増加していますが、令和4年度は過去5年間で最も低くなっている。

一件あたりの給付費は年々増加傾向で、平成30年度から令和4年度にかけて6,816円増加し、県内順位も平成30年度の45位から令和4年度は21位に上昇している。令和元年度以降は一件あたりの給付費は県より高くなっているが、木曽圏域より低い状況である。

4) 医療費

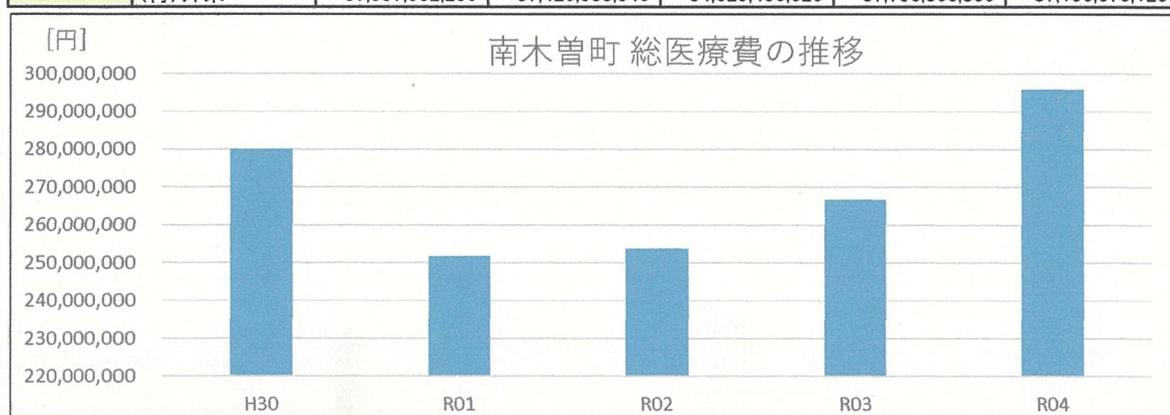
医療費は国民健康保険の財政に影響する重要な指標である。増加した場合は、その要因は何かを検証し、予防的な取組により解消が可能なものであれば、医療費適正化に向けた取組が必要となる。

(1) 医療費概要

総医療費

[円]

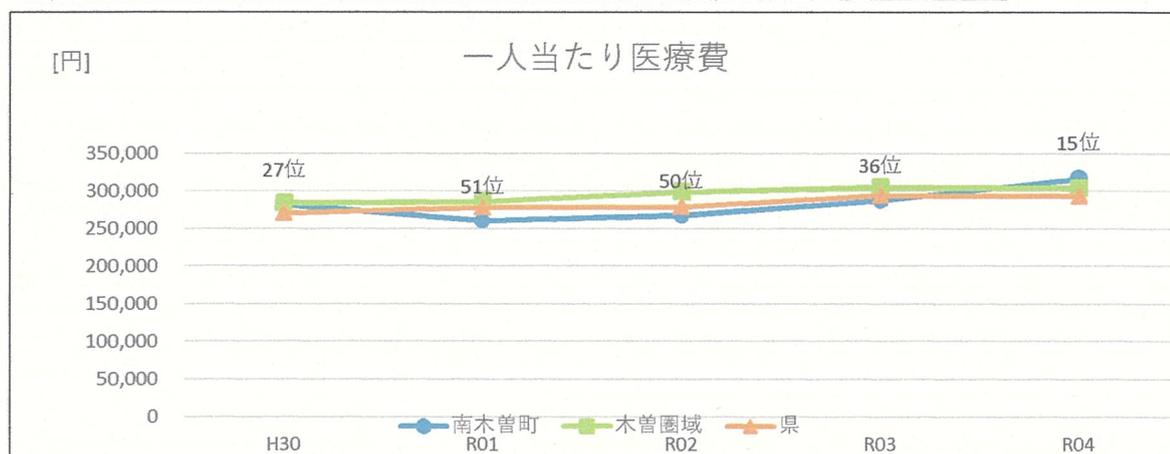
	H30	R01	R02	R03	R04
南木曾町	279,915,280	251,689,980	253,705,640	266,786,530	295,849,170
(再)入院	101,767,500	91,775,920	100,791,710	84,451,710	114,118,750
(再)外来	178,147,780	159,914,060	152,913,930	182,334,820	181,730,420
木曾圏域	1,882,490,300	1,840,041,890	1,846,328,460	1,855,501,590	1,822,590,310
(再)入院	752,997,060	753,803,970	748,387,510	696,156,150	708,015,510
(再)外来	1,129,493,240	1,086,237,920	1,097,940,950	1,159,345,440	1,114,574,800
県	146,967,799,580	145,682,800,700	140,863,235,610	146,250,653,230	143,490,394,520
(再)入院	59,009,867,330	58,262,212,160	56,233,785,590	58,494,346,930	56,299,724,400
(再)外来	87,957,932,250	87,420,588,540	84,629,450,020	87,756,306,300	87,190,670,120



一人当たり医療費

[円]

	H30	R01	R02	R03	R04
南木曾町	281,605	260,279	267,622	287,485	316,416
木曾圏域	283,550	285,943	299,097	305,031	304,374
県	270,783	278,252	279,170	294,202	293,164



総医療費は令和元年度から増加傾向で令和4年度は過去5年間で最も高くなっており、一人あたり医療費も同様の傾向で令和4年度は県内順位15位と高い状況である。

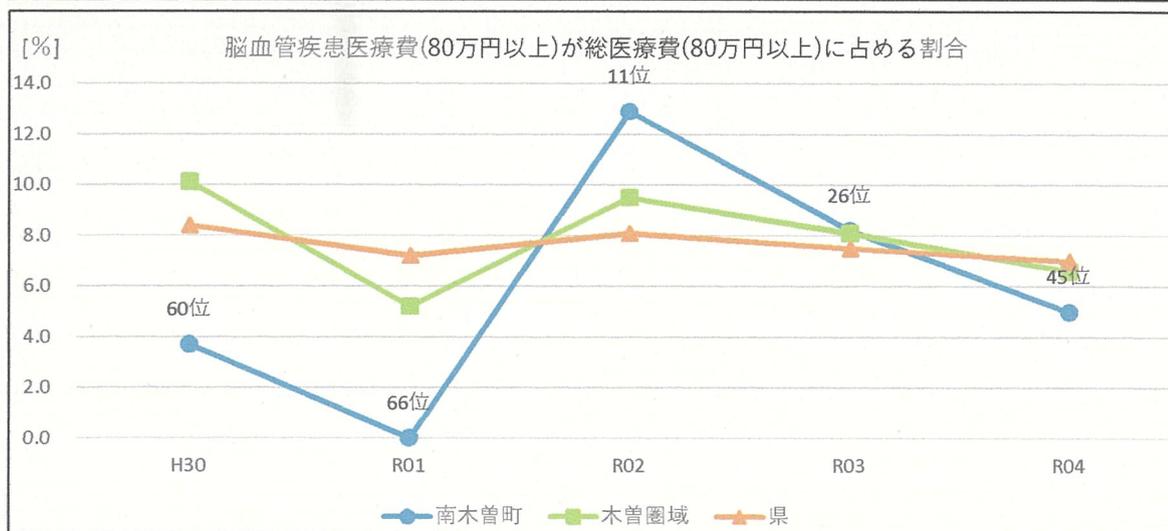
(2)高額医療費分析

高額医療費・人工透析等の医療費は、計画の中長期目標疾患である脳血管疾患、虚血性心疾患の状況を把握し、また、重症化予防として何に優先的に取り組むことが必要かを推測するために重要な指標となる。

高額レセプト(80万円以上)状況☆

脳血管疾患

	H30	R01	R02	R03	R04	
南木曽町	レセプト件数(80万円以上のうち脳血管疾患主病)	1	0	8	4	4
	医療費(脳血管疾患主病)[円]	1,695,490	0	8,168,820	4,428,280	3,781,430
	レセプト一件あたり医療費(脳血管疾患主病)[円]	1,695,490	0	1,021,103	1,107,070	945,358
	総医療費(80万円以上)[円]	45,408,480	41,540,090	63,277,710	54,051,120	76,235,940
	総医療費(80万円以上)に占める割合[%]	3.7	0.0	12.9	8.2	5.0
木曽圏域	レセプト件数(80万円以上のうち脳血管疾患主病)	32	15	34	28	26
	医療費(脳血管疾患主病)[円]	37,609,740	20,587,670	45,379,680	34,668,010	30,168,350
	レセプト一件あたり医療費(脳血管疾患主病)[円]	1,175,304	1,372,511	1,334,696	1,238,143	1,160,321
	総医療費(80万円以上)[円]	373,225,250	394,458,450	475,271,540	428,289,510	458,458,780
	総医療費(80万円以上)に占める割合[%]	10.1	5.2	9.5	8.1	6.6
県	レセプト件数(80万円以上のうち脳血管疾患主病)	2,086	1,834	2,081	2,057	1,873
	医療費(脳血管疾患主病)[円]	2,858,398,130	2,499,410,590	2,870,803,480	2,803,895,410	2,594,901,810
	レセプト一件あたり医療費(脳血管疾患主病)[円]	1,370,277	1,362,819	1,379,531	1,363,099	1,385,425
	総医療費(80万円以上)[円]	33,954,886,410	34,564,456,280	35,604,208,850	37,631,701,530	37,243,674,620
	総医療費(80万円以上)に占める割合[%]	8.4	7.2	8.1	7.5	7.0

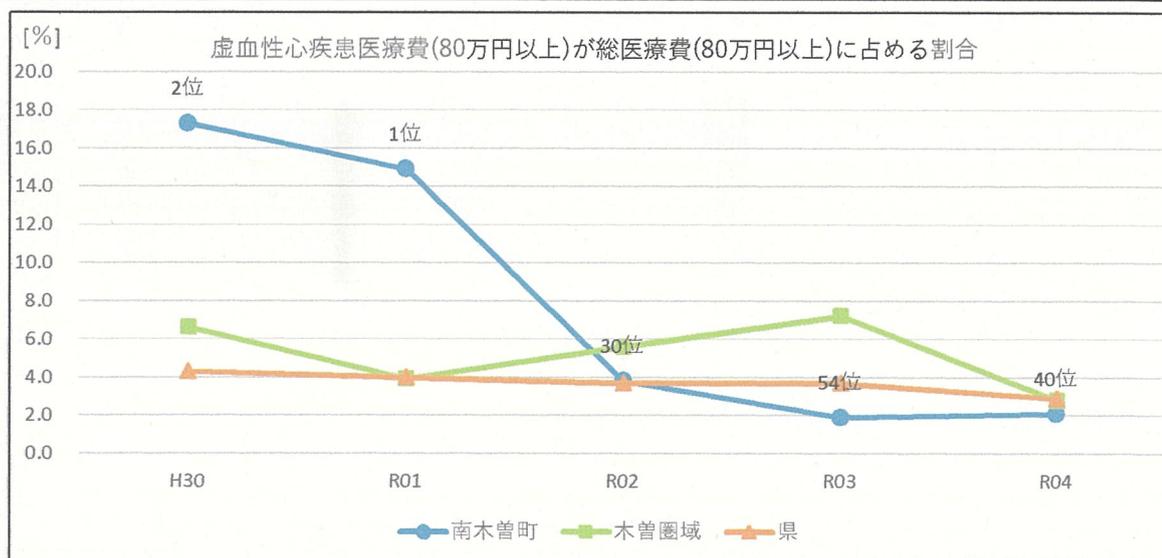


脳血管疾患の高額レセプト件数は令和2年度から令和4年度にかけて減少傾向であり、令和2年度の8件から令和4年度は4件に減少している。

脳血管疾患医療費(80万円以上)が総医療費に占める割合は令和2年度以降は減少傾向であり令和4年度は5.0%となっている。

虚血性心疾患

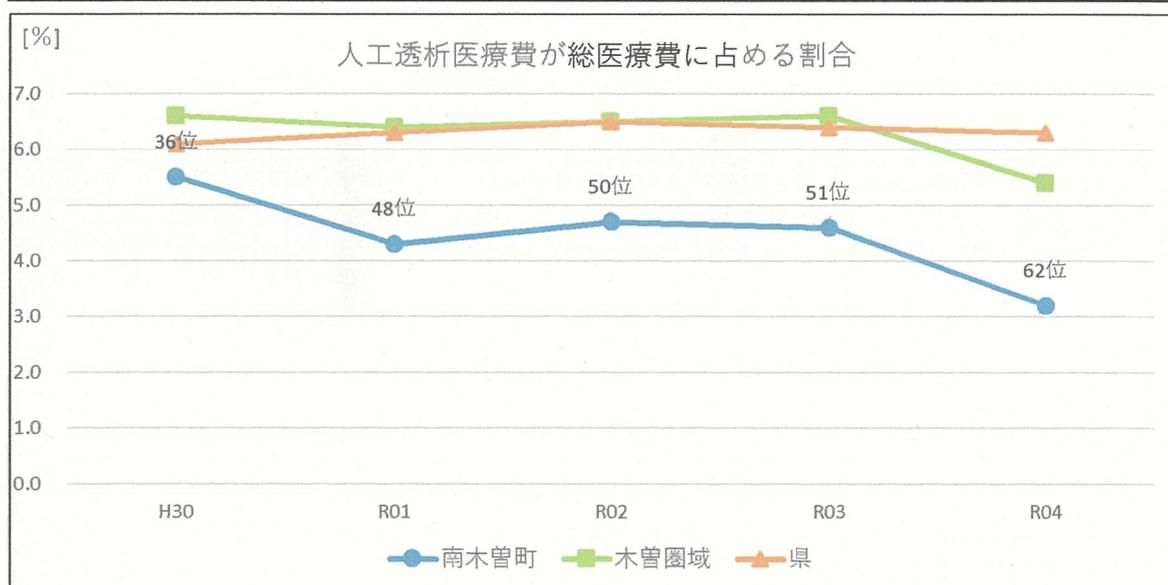
	H30	R01	R02	R03	R04
南木曽町					
レセプト件数(80万円以上のうち虚血性心疾患主病)	2	4	2	1	1
医療費(虚血性心疾患主病)[円]	7,876,970	6,185,930	2,396,970	1,016,540	1,637,210
レセプト一件当たり医療費[円]	3,938,485	1,546,483	1,198,485	1,016,540	1,637,210
総医療費(80万円以上)[円]	45,408,480	41,540,090	63,277,710	54,051,120	76,235,940
総医療費(80万円以上)に占める割合[%]	17.3	14.9	3.8	1.9	2.1
木曽圏域					
レセプト件数(80万円以上のうち虚血性心疾患主病)	13	12	16	17	9
医療費(虚血性心疾患主病)[円]	24,674,680	15,431,510	26,456,260	30,976,270	12,993,580
レセプト一件当たり医療費[円]	1,898,052	1,285,959	1,653,516	1,822,134	1,443,731
総医療費(80万円以上)[円]	373,225,250	394,458,450	475,271,540	428,289,510	458,458,780
総医療費(80万円以上)に占める割合[%]	6.6	3.9	5.6	7.2	2.8
県					
レセプト件数(80万円以上のうち虚血性心疾患主病)	927	873	858	879	679
医療費(虚血性心疾患主病)[円]	1,452,581,430	1,382,356,090	1,310,254,350	1,408,264,760	1,087,558,190
レセプト一件当たり医療費[円]	1,566,970	1,583,455	1,527,103	1,602,121	1,601,706
総医療費(80万円以上)[円]	33,954,886,410	34,564,456,280	35,604,208,850	37,631,701,530	37,243,674,620
総医療費(80万円以上)に占める割合[%]	4.3	4.0	3.7	3.7	2.9



虚血性心疾患の高額レセプト件数は平成30年度の2件から令和4年度の1件と減少している。虚血性心疾患医療費(80万円以上)が総医療費に占める割合は、平成30年度の17.3%から減少傾向にあり令和4年度には2.1%となり15.2%減少している。

人工透析患者

	H30	R01	R02	R03	R04	
南木曾町	人工透析レセプト件数	36	24	29	32	26
	人工透析レセプト医療費[円]	15,501,970	10,871,550	12,026,870	12,335,380	9,569,970
	一件あたり医療費[円]	430,610	452,981	414,720	385,481	368,076
	総医療費[円]	279,915,280	251,689,980	253,705,640	266,786,530	295,849,170
	総医療費に占める割合[%]	5.5	4.3	4.7	4.6	3.2
木曾圏域	人工透析レセプト件数	302	264	277	265	247
	人工透析レセプト医療費[円]	125,188,760	118,219,610	119,763,450	122,571,370	98,409,440
	一件あたり医療費[円]	414,532	447,802	432,359	462,533	398,419
	総医療費[円]	1,882,583,960	1,840,052,020	1,846,474,150	1,855,517,790	1,822,633,490
	総医療費に占める割合[%]	6.6	6.4	6.5	6.6	5.4
県	人工透析レセプト件数	19,481	19,622	19,584	20,126	19,932
	人工透析レセプト医療費[円]	8,983,777,250	9,127,070,260	9,134,925,170	9,312,272,630	8,983,026,350
	一件あたり医療費[円]	461,156	465,145	466,448	462,699	450,684
	総医療費[円]	146,991,428,810	145,716,059,750	140,876,755,460	146,263,856,040	143,516,119,820
	総医療費に占める割合[%]	6.1	6.3	6.5	6.4	6.3



人工透析患者の高額レセプト件数は減少傾向で平成30年度の36件から、令和4年度には26件となり10件減少している。レセプト医療費も同様に減少傾向で令和4年度は平成30年度から593万2,000円減少し956万9,970円となっている。

人工透析医療費が総医療費に占める割合は減少傾向にあり、平成30年度から2.3%下がり、令和4年度は3.2%で県内順位62位で、過去5年間を通じて木曾圏域、県より低い水準で推移している。

5) 特定健康診査・特定保健指導の実施状況

特定健康診査は内臓脂肪症候群に着目した健診であり、健診で抽出された対象者に保健指導を行うことで、生活習慣病発症予防及び重症化予防を目指すものである。

受診率の向上及び効果的な保健指導により、個人の健康を守り、国保被保険者全体の健康指標の向上に繋がる。

(1) 特定健康診査受診率★

年度	H30			R01			R02			R03			R04		
	対象者[人]	受診者[人]	率[%]												
総数	673	487	72.4	636	447	70.3	643	457	71.1	644	432	67.1	602	412	68.4
総数40-44	24	12	50.0	23	11	47.8	20	9	45.0	16	6	37.5	20	12	60.0
総数45-49	26	11	42.3	23	13	56.5	26	11	42.3	33	14	42.4	25	11	44.0
総数50-54	37	17	45.9	35	17	48.6	29	15	51.7	32	13	40.6	32	18	56.3
総数55-59	42	25	59.5	48	29	60.4	44	28	63.6	36	21	58.3	39	22	56.4
総数60-64	87	55	63.2	77	44	57.1	73	47	64.4	75	42	56.0	66	36	54.5
総数65-69	218	174	79.8	196	146	74.5	186	138	74.2	181	138	76.2	173	123	71.1
総数70-74	239	193	80.8	234	187	79.9	265	209	78.9	271	198	73.1	247	190	76.9
(再)総40-64	216	120	55.6	206	114	55.3	192	110	57.3	192	96	50.0	182	99	54.4
(再)総65-74	457	367	80.3	430	333	77.4	451	347	76.9	452	336	74.3	420	313	74.5
男性総数	330	229	69.4	308	200	64.9	310	213	68.7	310	189	61.0	302	194	64.2
男性40-44	14	7	50.0	15	8	53.3	12	6	50.0	9	3	33.3	11	8	72.7
男性45-49	15	7	46.7	12	8	66.7	15	7	46.7	20	8	40.0	18	7	38.9
男性50-54	20	9	45.0	19	7	36.8	15	8	53.3	18	8	44.4	19	9	47.4
男性55-59	20	11	55.0	26	14	53.8	24	15	62.5	20	12	60.0	20	12	60.0
男性60-64	36	22	61.1	32	14	43.8	24	13	54.2	24	10	41.7	31	13	41.9
男性65-69	101	78	77.2	92	64	69.6	94	69	73.4	92	64	69.6	86	61	70.9
男性70-74	124	95	76.6	112	85	75.9	126	95	75.4	127	84	66.1	117	84	71.8
(再)男40-64	105	56	53.3	104	51	49.0	90	49	54.4	91	41	45.1	99	49	49.5
(再)男65-74	225	173	76.9	204	149	73.0	220	164	74.5	219	148	67.6	203	145	71.4
女性総数	343	258	75.2	328	247	75.3	333	244	73.3	334	243	72.8	300	218	72.7
女性40-44	10	5	50.0	8	3	37.5	8	3	37.5	7	3	42.9	9	4	44.4
女性45-49	11	4	36.4	11	5	45.5	11	4	36.4	13	6	46.2	7	4	57.1
女性50-54	17	8	47.1	16	10	62.5	14	7	50.0	14	5	35.7	13	9	69.2
女性55-59	22	14	63.6	22	15	68.2	20	13	65.0	16	9	56.3	19	10	52.6
女性60-64	51	33	64.7	45	30	66.7	49	34	69.4	51	32	62.7	35	23	65.7
女性65-69	117	96	82.1	104	82	78.8	92	69	75.0	89	74	83.1	87	62	71.3
女性70-74	115	98	85.2	122	102	83.6	139	114	82.0	144	114	79.2	130	106	81.5
(再)女40-64	111	64	57.7	102	63	61.8	102	61	59.8	101	55	54.5	83	50	60.2
(再)女65-74	232	194	83.6	226	184	81.4	231	183	79.2	233	188	80.7	217	168	77.4

(総数・性別)

総数

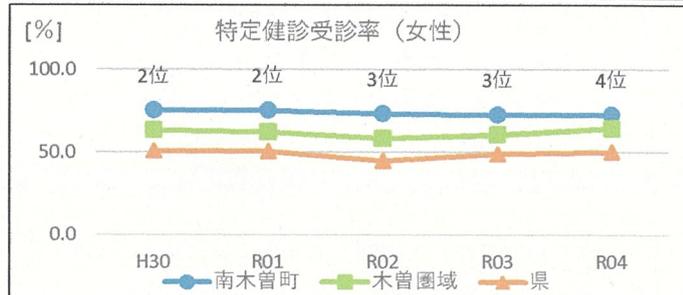
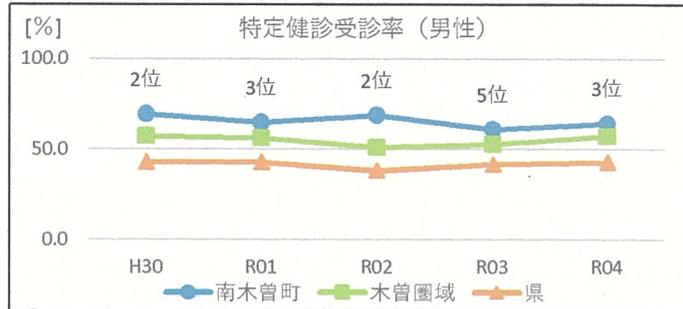
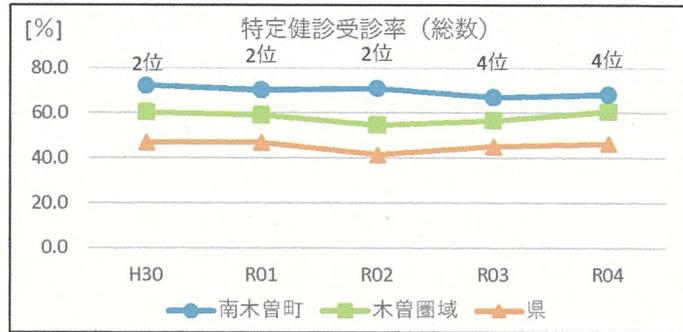
年度	H30	R01	R02	R03	R04
南木曾町	72.4	70.3	71.1	67.1	68.4
木曾圏域	60.3	59.2	54.6	56.7	60.7
県	46.9	46.8	41.5	45.3	46.5

男性

年度	H30	R01	R02	R03	R04
南木曾町	69.4	64.9	68.7	61.0	64.2
木曾圏域	57.1	56.0	50.9	52.8	57.1
県	42.8	42.8	38.0	41.5	42.8

女性

年度	H30	R01	R02	R03	R04
南木曾町	75.2	75.3	73.3	72.8	72.7
木曾圏域	63.3	62.3	58.2	60.5	64.3
県	50.8	50.6	44.8	48.8	50.1



特定健康診査受診率は木曾圏域、県より高い値で推移しており、県内順位も2～4位で推移しており、令和4年度は県より21.9%高い68.4%となっている。対象者数は平成30年度の673人から令和4年度は602人へ10.5%減少し、受診者数は平成30年度の487人から令和4年度の412人へ15.4%減少している。

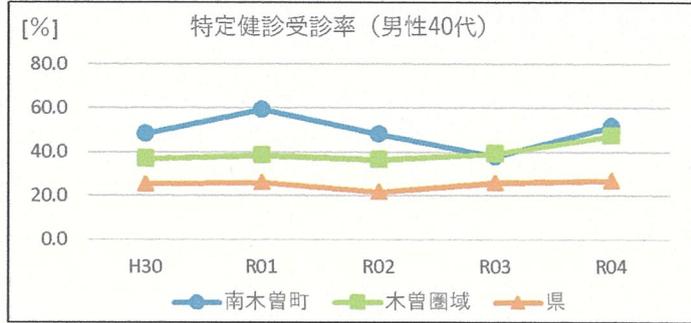
男女別では、男性は横ばい傾向で令和4年度は県より21.4%高い64.2%で県内順位は3位となっており、過去5年間で木曾圏域、県より高い水準で推移している。女性は平成30年度の75.2%から令和4年度は2.5%減少し72.7%となっており、木曾圏域、県より高い水準で推移し、令和4年度の県内順位は4位となっている。

(性・年代別)☆

男性

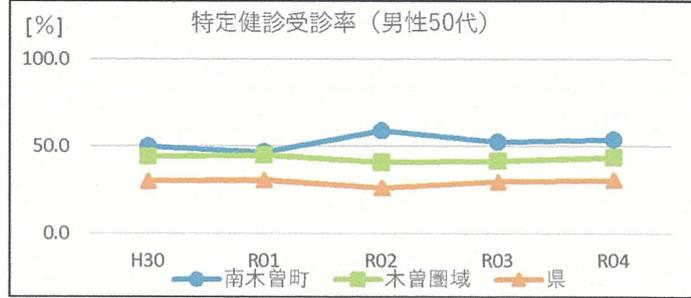
男性40代

年度	H30	R01	R02	R03	R04
南木曾町	48.3	59.3	48.1	37.9	51.7
木曾圏域	36.9	38.3	36.3	39.2	47.2
県	25.5	26.2	21.8	25.9	26.9



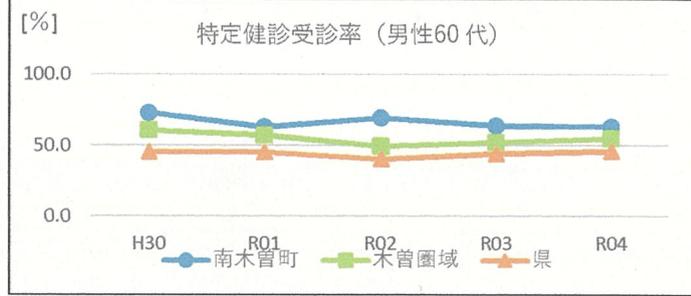
男性50代

年度	H30	R01	R02	R03	R04
南木曾町	50.0	46.7	59.0	52.6	53.8
木曾圏域	44.2	45.0	40.7	41.6	43.6
県	30.0	30.6	26.1	29.9	30.7



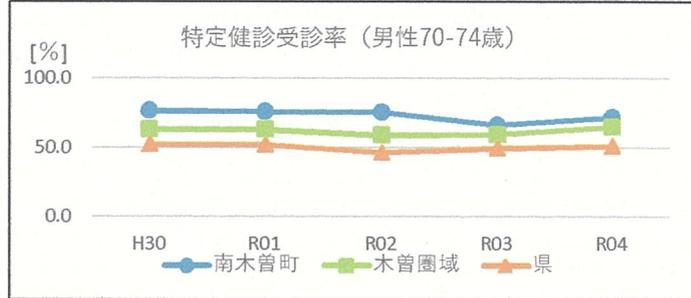
男性60代

年度	H30	R01	R02	R03	R04
南木曾町	73.0	62.9	69.5	63.8	63.2
木曾圏域	60.5	57.0	49.1	52.0	54.9
県	45.7	45.3	40.4	44.2	45.9



男性70-74歳

年度	H30	R01	R02	R03	R04
南木曾町	76.6	75.9	75.4	66.1	71.8
木曾圏域	63.0	63.0	58.7	59.3	64.8
県	52.4	51.7	46.4	49.4	51.0

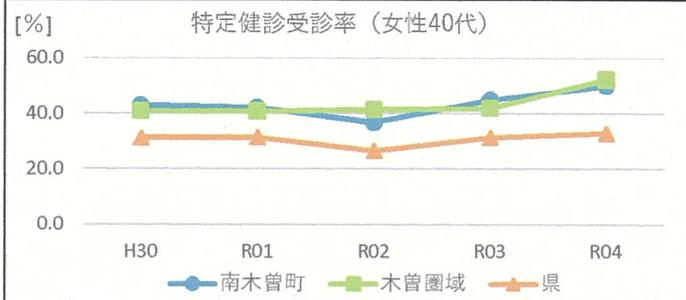


女性

女性40代

[%]

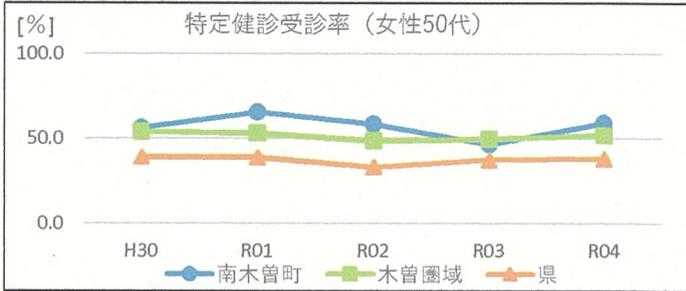
年度	H30	R01	R02	R03	R04
南木曾町	42.9	42.1	36.8	45.0	50.0
木曾圏域	40.9	40.8	41.3	42.0	52.2
県	31.3	31.4	26.6	31.4	33.0



女性50代

[%]

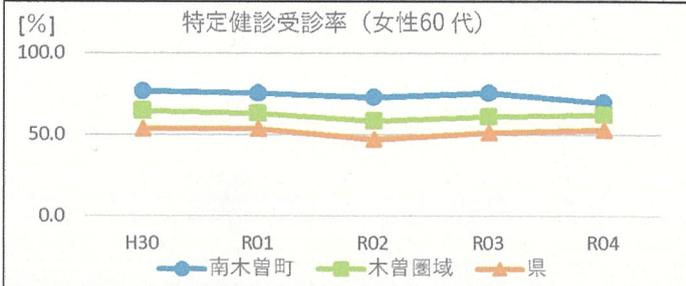
年度	H30	R01	R02	R03	R04
南木曾町	56.4	65.8	58.8	46.7	59.4
木曾圏域	54.2	53.0	48.7	49.8	52.3
県	39.3	38.8	33.2	37.7	38.2



女性60代

[%]

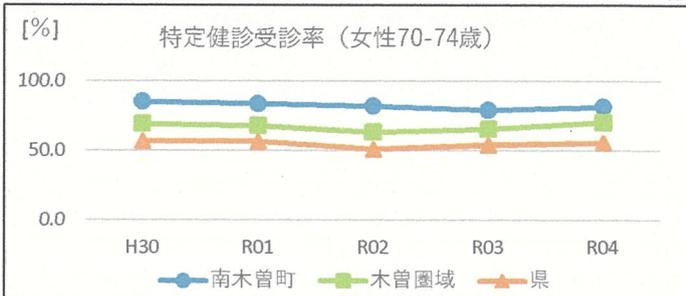
年度	H30	R01	R02	R03	R04
南木曾町	76.8	75.2	73.0	75.7	69.7
木曾圏域	64.5	63.0	58.1	60.9	62.2
県	53.8	53.6	47.1	51.4	52.9



女性70-74歳

[%]

年度	H30	R01	R02	R03	R04
南木曾町	85.2	83.6	82.0	79.2	81.5
木曾圏域	69.0	67.7	63.2	65.3	70.3
県	57.1	56.6	51.1	54.2	55.8



(2) 特定保健指導終了率★

年度	H30			R01			R02			R03			R04		
	対象者[人]	実施者[人]	率[%]												
総数	50	41	82.0	26	27	103.8	25	22	88.0	26	22	84.6	27	23	85.2
総数40-44			0.0	2	2	100.0	2	1	50.0	1		0.0	3	2	66.7
総数45-49	3	3	100.0	1	1	100.0			0.0	1	1	100.0	2	2	100.0
総数50-54	2	2	100.0			0.0	4	2	50.0	2	2	100.0	2		0.0
総数55-59	3	3	100.0	1	1	100.0			0.0	1	1	100.0	2	2	100.0
総数60-64	9	5	55.6	3	5	166.7	6	5	83.3	3	3	100.0			0.0
総数65-69	18	15	83.3	9	8	88.9	10	11	110.0	11	9	81.8	11	11	100.0
総数70-74	15	13	86.7	10	10	100.0	3	3	100.0	7	6	85.7	7	6	85.7
(再)総40-64	17	13	76.5	7	9	128.6	12	8	66.7	8	7	87.5	9	6	66.7
(再)総65-74	33	28	84.8	19	18	94.7	13	14	107.7	18	15	83.3	18	17	94.4
男性総数	36	29	80.6	17	19	111.8	20	15	75.0	21	18	85.7	22	18	81.8
男性40-44			0.0	1	1	100.0	2	1	50.0	1		0.0	2	1	50.0
男性45-49	2	2	100.0	1	1	100.0			0.0	1	1	100.0	2	2	100.0
男性50-54	1	1	100.0			0.0	4	2	50.0	2	2	100.0	2		0.0
男性55-59	1	1	100.0	1	1	100.0			0.0	1	1	100.0	2	2	100.0
男性60-64	7	4	57.1	2	4	200.0	3	2	66.7	1	1	100.0			0.0
男性65-69	14	12	85.7	6	6	100.0	8	8	100.0	8	7	87.5	8	8	100.0
男性70-74	11	9	81.8	6	6	100.0	3	2	66.7	7	6	85.7	6	5	83.3
(再)男40-64	11	8	72.7	5	7	140.0	9	5	55.6	6	5	83.3	8	5	62.5
(再)男65-74	25	21	84.0	12	12	100.0	11	10	90.9	15	13	86.7	14	13	92.9
女性総数	14	12	85.7	9	8	88.9	5	7	140.0	5	4	80.0	5	5	100.0
女性40-44			0.0	1	1	100.0			0.0			0.0	1	1	100.0
女性45-49	1	1	100.0			0.0			0.0			0.0			0.0
女性50-54	1	1	100.0			0.0			0.0			0.0			0.0
女性55-59	2	2	100.0			0.0			0.0			0.0			0.0
女性60-64	2	1	50.0	1	1	100.0	3	3	100.0	2	2	100.0			0.0
女性65-69	4	3	75.0	3	2	66.7	2	3	150.0	3	2	66.7	3	3	100.0
女性70-74	4	4	100.0	4	4	100.0		1	0.0			0.0	1	1	100.0
(再)女40-64	6	5	83.3	2	2	100.0	3	3	100.0	2	2	100.0	1	1	100.0
(再)女65-74	8	7	87.5	7	6	85.7	2	4	200.0	3	2	66.7	4	4	100.0

(総数・性別)

総数

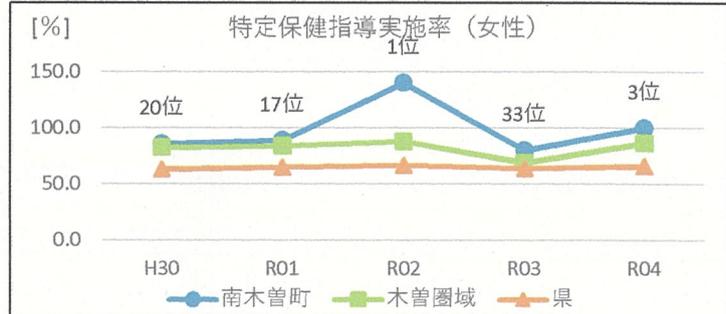
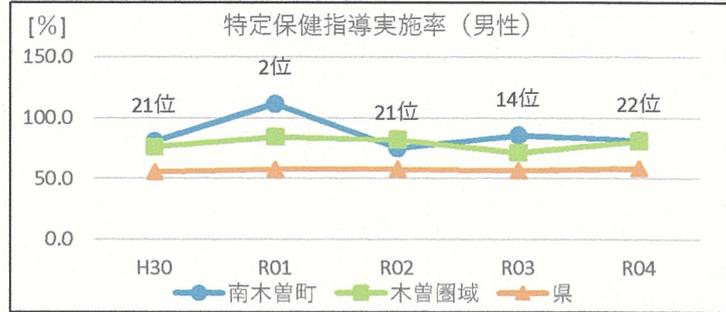
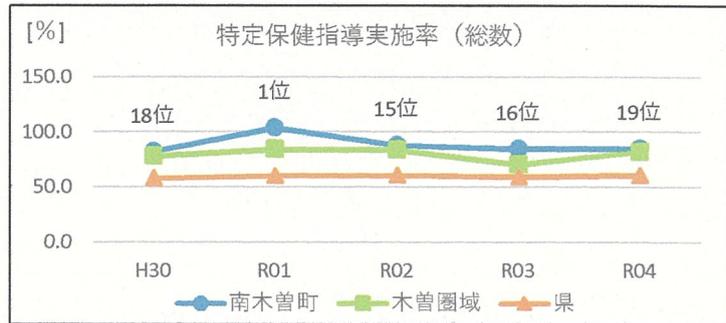
年度	H30	R01	R02	R03	R04
南木曽町	82.0	103.8	88.0	84.6	85.2
木曽圏域	77.9	84.0	83.4	70.4	82.3
県	58.0	60.2	60.8	59.2	61.0

男性

年度	H30	R01	R02	R03	R04
南木曽町	80.6	111.8	75.0	85.7	81.8
木曽圏域	76.2	84.1	81.6	71.1	80.7
県	55.7	58.0	58.0	56.9	58.6

女性

年度	H30	R01	R02	R03	R04
南木曽町	85.7	88.9	140.0	80.0	100.0
木曽圏域	82.1	83.8	87.7	68.8	86.5
県	63.1	65.1	66.8	64.2	66.1



特定保健指導実施率は令和元年度に100%を超え県内順位1位となっているが、令和2年度以降は横ばい傾向である。木曽圏域、県より高い水準で推移しており、対象者数と実施者数は平成30年度から令和元年度にかけて減少し、その後は横ばい傾向である。

男女別では、男性は令和元年度に110%を超え県内順位2位となっており、その後は横ばい傾向であり、木曽圏域、県と比較すると令和2年度は木曽圏域より低い値になっていたが、それ以外の年は木曽圏域、県より高い水準で推移している。女性は令和元年度に140.0%で県内順位1位であり、令和4年度は100%で県内順位3位となっている。過去5年間で木曽圏域、県より高い水準で推移している。

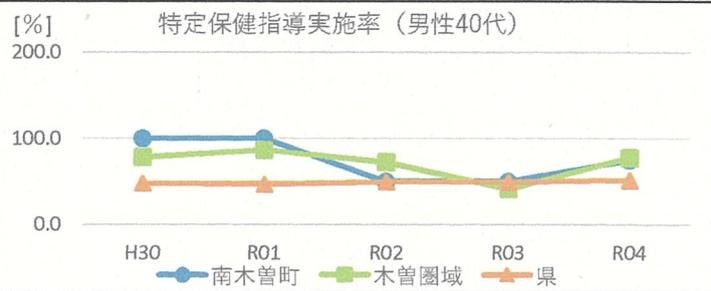
(性・年代別)☆

男性

男性40代

[%]

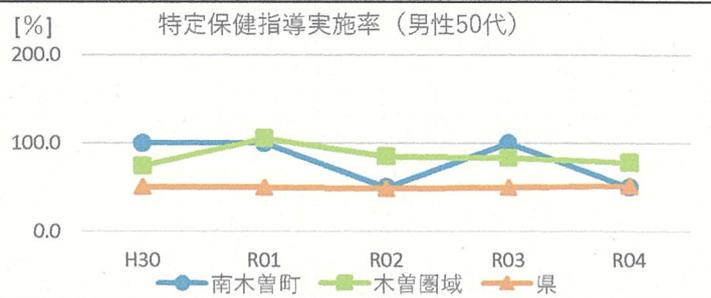
年度	H30	R01	R02	R03	R04
南木曾町	100.0	100.0	50.0	50.0	75.0
木曾圏域	78.6	86.7	72.2	41.2	77.8
県	48.4	47.3	49.6	49.7	52.0



男性50代

[%]

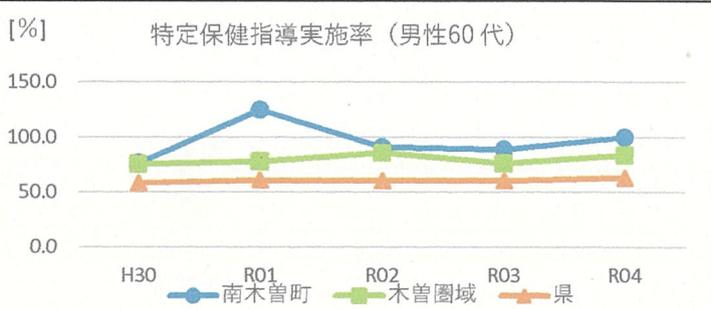
年度	H30	R01	R02	R03	R04
南木曾町	100.0	100.0	50.0	100.0	50.0
木曾圏域	74.1	105.0	84.2	83.3	77.8
県	50.9	49.8	48.8	50.1	51.8



男性60代

[%]

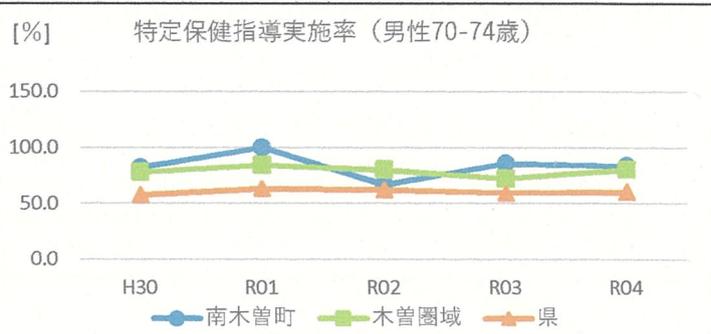
年度	H30	R01	R02	R03	R04
南木曾町	76.2	125.0	90.9	88.9	100.0
木曾圏域	75.3	77.3	85.7	76.1	83.3
県	58.3	60.8	60.6	60.4	63.2



男性70-74歳

[%]

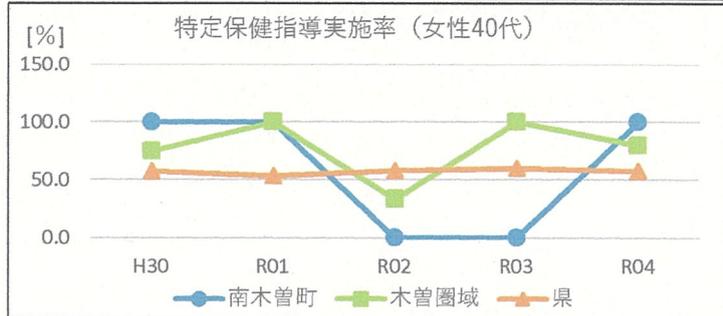
年度	H30	R01	R02	R03	R04
南木曾町	81.8	100.0	66.7	85.7	83.3
木曾圏域	78.0	84.0	79.7	72.2	80.4
県	57.7	63.3	62.3	59.6	60.3



女性

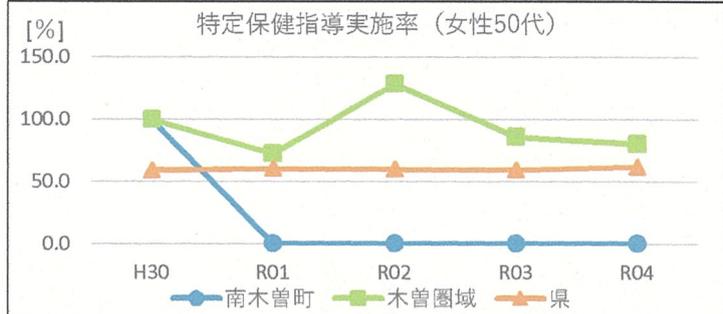
女性40代

年度	H30	R01	R02	R03	R04
南木曾町	100.0	100.0	0.0	0.0	100.0
木曾圏域	75.0	100.0	33.3	100.0	80.0
県	57.7	53.5	58.4	60.1	57.9



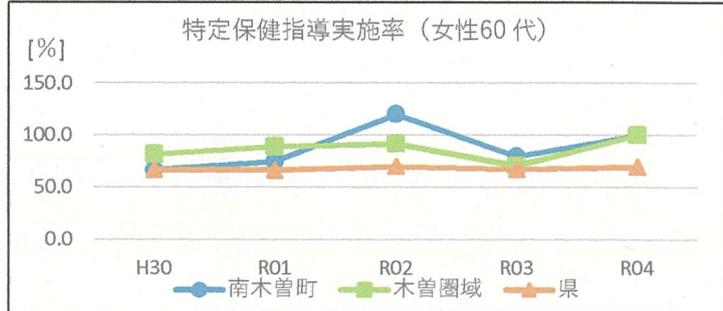
女性50代

年度	H30	R01	R02	R03	R04
南木曾町	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
木曾圏域	100.0	72.2	128.6	85.7	80.0
県	59.2	60.5	59.9	59.3	61.9



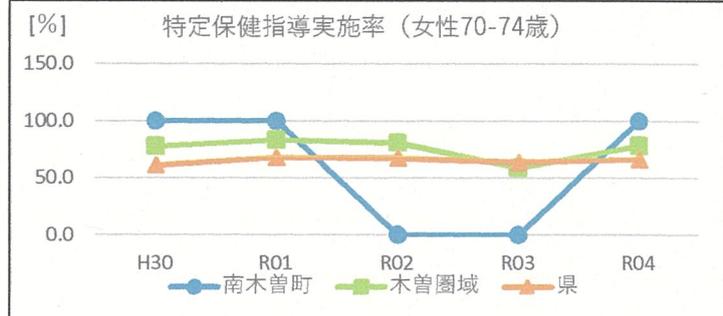
女性60代

年度	H30	R01	R02	R03	R04
南木曾町	66.7	75.0	120.0	80.0	100.0
木曾圏域	81.3	88.5	91.7	70.8	100.0
県	66.6	66.5	70.0	67.3	69.9



女性70-74歳

年度	H30	R01	R02	R03	R04
南木曾町	100.0	100.0	0.0	0.0	100.0
木曾圏域	77.8	83.3	80.6	58.6	78.3
県	61.1	68.2	67.7	64.0	66.3



(3) 特定保健指導対象者の減少

内臓脂肪症候群に該当する特定保健指導対象者の減少は、特定保健指導による生活習慣病の発症予防・重症化予防の成果として重要なアウトカム指標である。実施率の推移は、被保険者の健康状態の改善状況のほか、実施体制等を評価する指標となる。

年度	H30				R01				R02				R03				R04			
	健診受診者 [人]	昨年度 の特定 保健指 導の利 用者数 (分母) [人]	分母の うち、今 年度特 定保健 指導対 象者で なくな った者 の数 [人]	減少率 [%]																
総数	487	43	14	32.6	447	44	12	27.3	457	24	4	16.7	432	23	8	34.8	412	23	5	21.7
総数40-49	23	1		0.0	24	2	1	50.0	20	2		0.0	20	1	1	100.0	23	2		0.0
総数50-59	42	8	4	50.0	46	5	2	40.0	43	1		0.0	34	3	1	33.3	40	3	1	33.3
総数60-69	229	18	6	33.3	190	21	7	33.3	185	8	2	25.0	180	16	6	37.5	159	13	4	30.8
総数70-74	193	16	4	25.0	187	16	2	12.5	209	13	2	15.4	198	3		0.0	190	5		0.0
再)総40-64	120	12	5	41.7	114	12	4	33.3	110	5	1	20.0	96	8	4	50.0	99	7	3	42.9
再)総65-74	367	31	9	29.0	333	32	8	25.0	347	19	3	15.8	336	15	4	26.7	313	16	2	12.5
男性総数	229	32	10	31.3	200	30	8	26.7	213	15		0.0	189	18	5	27.8	194	19	3	15.8
男性40-49	14			0.0	16	1	1	100.0	13	1		0.0	11	1	1	100.0	15	2		0.0
男性50-59	20	7	3	42.9	21	3	1	33.3	23	1		0.0	20	3	1	33.3	21	3	1	33.3
男性60-69	100	15	4	26.7	78	15	4	26.7	82	4		0.0	74	11	3	27.3	74	9	2	22.2
男性70-74	95	10	3	30.0	85	11	2	18.2	95	9		0.0	84	3		0.0	84	5		0.0
再)男40-64	56	10	4	40.0	51	7	2	28.6	49	3		0.0	41	6	3	50.0	49	6	2	33.3
再)男65-74	173	22	6	27.3	149	23	6	26.1	164	12		0.0	148	12	2	16.7	145	13	1	7.7
女性総数	258	11	4	36.4	247	14	4	28.6	244	9	4	44.4	243	5	3	60.0	218	4	2	50.0
女性40-49	9	1		0.0	8	1		0.0	7	1		0.0	9			0.0	8			0.0
女性50-59	22	1	1	100.0	25	2	1	50.0	20			0.0	14			0.0	19			0.0
女性60-69	129	3	2	66.7	112	6	3	50.0	103	4	2	50.0	106	5	3	60.0	85	4	2	50.0
女性70-74	98	6	1	16.7	102	5		0.0	114	4	2	50.0	114			0.0	106			0.0
再)女40-64	64	2	1	50.0	63	5	2	40.0	61	2	1	50.0	55	2	1	50.0	50	1	1	100.0
再)女65-74	194	9	3	33.3	184	9	2	22.2	183	7	3	42.9	188	3	2	66.7	168	3	1	33.3

特定保健指導対象者の減少率は平成30年度から令和2年度にかけて減少し、令和3年度に増加、令和4年度に再び減少しているが、過去5年間木曾圏域、県より高い水準で推移している。令和4年度は県より2.0%高い21.7%で県内順位は29位となっている。

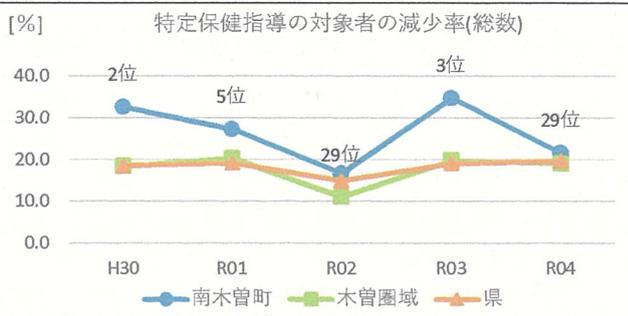
男女別では、男性は平成30年度から令和2年度にかけて減少し、令和3年度に増加、令和4年度に再び減少し、令和4年度は県より2.3%低い15.8%で県内順位は45位となっている。女性は令和元年度から令和3年度まで増加したが、令和4年度は減少している。過去5年間木曾圏域、県より高い水準で推移しており、令和4年度は県より26.9%高い50.0%で県内順位は3位となっている。

(総数・性別)

総数

年度	H30	R01	R02	R03	R04
南木曾町	32.6	27.3	16.7	34.8	21.7
木曾圏域	18.3	20.3	11.0	19.8	19.0
県	18.6	19.3	15.0	19.1	19.7

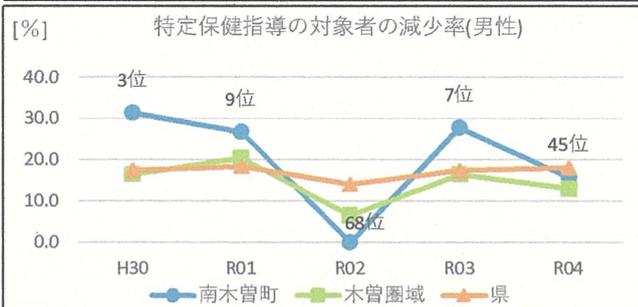
[%]



男性

年度	H30	R01	R02	R03	R04
南木曾町	31.3	26.7	0.0	27.8	15.8
木曾圏域	16.4	20.4	6.4	16.4	13.0
県	17.4	18.4	14.1	17.4	18.1

[%]



女性

年度	H30	R01	R02	R03	R04
南木曾町	36.4	28.6	44.4	60.0	50.0
木曾圏域	23.2	20.0	20.0	28.1	32.1
県	21.1	21.2	17.0	22.6	23.1

[%]

